

# アンケート調査対象者及び配布・回収方法(案)

<input checked="" type="checkbox"/> 保護者向け <input type="checkbox"/> 子ども向け	年齢	就学前					小学生					中学生			高校生	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13
第2期子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査の調査対象																
就学前児童調査	H30 見込：949 件															
小学生児童調査	H30 見込：817 件															

※就学前児童用と小学生用の2種類の調査票を作成

※郵送により配布、返信用封筒で回収

※きょうだいがいる家庭は重複しないように下の子の宛名で送付する。ただし、就学前と小学生1~4年生にそれぞれにきょうだいがいる家庭は就学前用と小学生用の2種類を送付する。

<input checked="" type="checkbox"/> 保護者向け <input type="checkbox"/> 子ども向け	年齢	就学前					小学生					中学生			高校生		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		13	14
子どもの貧困対策整備計画実態調査の調査対象																	
①小学生調査 (5・6年生)																	
②中学生調査 (1~3年生)																	
③生活保護・ひとり親 世帯調査 (同一調査票)	・0歳から18歳の児童がいる生保世帯：約30件 内、ひとり親世帯：約25件 ・ひとり親世帯：約250件																

- ① 小学生調査5年生保護者見込 253人、6年生保護者見込各 240人：子ども調査票と一緒に学校配布・回収（回収は郵送とする） 子ども：学校配布・調査実施・回収
- ② 中学生調査1年生保護者見込 233人、2年生保護者見込 212人、3年生保護者見込 234人：子ども調査票と一緒に学校配布・回収（回収は郵送とする） 子ども：学校配布・調査実施・回収
- ③生活保護世帯調査とひとり親世帯調査（0歳~小学4年生と高校生の子どものいる家庭）/保護者：郵送配布・回収 調査票は同一調査票1種類とする。

- ※①と②の小・中学生調査は、基本的には共通設問。
- ※小学5年生と中学2年生のみでは、全数回収としても小学校と中学校別にみた場合有意性がないため、調査数を増やす必要があり、対象学年を増やす。(小学5年、6年、中学1年、2年、3年)
- ※①②の小(5年、6年)・中学生の保護者調査に、ひとり親や生活保護世帯であることがわかる設問を加え、その調査からも実態を把握する。
- ※①②は親子の関連付けをする必要があるため、1つの封筒にそれぞれ番号をつけた保護者と子ども調査の2通を入れ、子ども調査は学校で記入・回収。保護者調査は子どもが持ち帰り、回収は返信用封筒による郵送回収とする。
- ※③生活保護世帯とひとり親世帯調査(保護者のみ)は、重複もあるため1種類とし、設問をできる限り少なくする。また、生保とひとり親調査は、①②の保護者設問と重複するため、①②の対象者には配布しない。
- ※生活保護世帯とひとり親世帯の子どもについて、中・高生には個別の調査票を想定していたが、高校生への調査は取りやめ、中学生には、学校で実施予定の全数調査として実施。
- ※ひとり親世帯は児童扶養手当12月定例支払の支給通知と併せて、郵送で送付する。
- ※生活保護世帯は社会福祉課生活福祉係と別途調整する。